

# 呼吸器内科

## 1. 呼吸器センターについて

平成 19 年 6 月に、呼吸器内科と呼吸器外科が統合して呼吸器センターが設立され、呼吸器疾患に対するシームレスな診療を目指している。なお、平成 27 年 4 月 1 日から診療報酬上は呼吸器内科と外科に分けてそれぞれの診療実績を把握しやすくした。

### 【呼吸器センターの構成】

呼吸器センター長：	福井部長（内科系部門統括）
副センター長：	黄部長（外科系部門統括）
内科系病棟医長：	丸毛副部長
外科系病棟医長：	大竹副部長

### 【センター全体での業務】

- 合同カンファレンス（月曜日 17 時 30 分から）  
呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科）、放射線科（治療部門）、腫瘍内科が合同で主に肺癌患者の集学的治療について検討を行っている。
- 外来  
外来Aブロック 9 診、10 診、19 診、20 診において、呼吸器センター内科と外科が並列して外来診療を行うことで、密接な診療協力をはかる。  
基本的にAブロック 10 診は内科・外科部長が紹介患者や予約患者を中心に診察。  
初診患者は各外来で分担して診察を行っている。

### 呼吸器センター 1 診（Aブロック 10 診）

月曜日から金曜日までは部長が担当。土曜日は内科系初診を中心に交代で担当した。

#### 《呼吸器センター 1 診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
黄（外科）	福井	黄（外科）	福井	福井	交代（内科）

### 呼吸器センター 2 診（Aブロック 9 診）

月曜・火曜・木曜の午前中は初診外来、土曜日は外科系初診外来（交代）である。

月曜・火曜・木曜の午後と水曜日は、呼吸器センタースタッフが 15 分単位で自由に予約を入れることができる。外来化学療法中の患者や入院中検査の結果説明などで時間を要する診療に利用されている。

《呼吸器センター2診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
林/自由梓	宇山/自由梓	自由梓	山城/自由梓	大竹（外科）	交代（外科）
井上（午後）	呼吸器交代（午後）				

**呼吸器センター3診（Aブロック20診）**

主に内科系スタッフが予約患者を中心に、初診患者も一部担当した。水曜日は内科スタッフが交代で担当している。

《呼吸器センター3診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
丸毛	片山	交代	網本/丸毛	井上	

**呼吸器センター4診（Aブロック19診）**

午前中は、初診患者と予約患者を中心に、午後は予約患者を中心に診療した。

《呼吸器センター4診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
北島	白石	住友（外科）	糸谷	白田/片山	

**呼吸器センター金曜（Aブロック23診） 金曜のみ**

午前中のみ、初診患者と予約患者を中心に診療した。

《呼吸器センター金曜初診担当医師》

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
				交代	

**2. 呼吸器内科の基本方針**

呼吸器内科は、「患者さんに近い医療」を診療の根幹にしたいと考える。医療情勢がめまぐるしく変わる中、この軸足だけはぶれないように心がけたい。

当部門の基本方針は以下の通りである。

- 呼吸器センターとして、呼吸器外科と密接に連携を図り、呼吸器疾患で苦しむ患者さんに最良の診療を提供する。
- 内科の1診療科として、他の内科診療科などと良好な連携のもとに全人的な診療を心がける。
- 他職種と協同して行うチーム医療に重点を置く。
- 積極的に新しい知見や技術を取り入れ、最新の医療を適切に行うために努力を惜しまない。

### 3. 呼吸器内科のスタッフ紹介

病棟医長の丸毛副部長、片山副部長に加え、井上医員から副部長に昇格した。医員は北島・白田に加えて、伊元が新たに加わった。さらに山城が後期レジデントから医員に昇格した。後期レジデントとしては、白石・網本・宇山・林に新たに前谷・山田が加わった。一方で、医員の島、後期レジデントの渡邊は京大大学院に進学し、原医師は刀根山病院に異動となった。その結果、平成30年度は主任部長1名、副部長・医員6名、後期レジデント6名の構成で業務を行った。科の性格上、緊急入院が非常に多く、スタッフの過重労働が大きな問題であったが、呼吸器内科を志望してくれる後期レジデントが毎年2名ずつ加わってくれており、大きな戦力となっている。

なお、福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座の鈴木雅雄先生には、第12研究部の客員研究員として週1回 COPD 患者に対して鍼治療の臨床研究を継続してもらうとともに、入外患者の漢方治療や鍼治療に関して指導してもらっている。

医 師		資格など
福井 基成 ふくい もとなり	副院長 呼吸器センター長 呼吸器内科主任部長	京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授 日本内科学会指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医・代議員 呼吸ケア・リハビリテーション学会代議員
丸毛 聡 まるも さとし	副部長 病棟主任	日本結核病学会結核非結核性抗酸菌症認定医 日本内科学会認定医、日本化学療法学会認定医 Infection Control Doctor、産業医
片山 優子 かたやま ゆうこ	副部長	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
井上 大生 いのうえ だいき	医員	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医
北島 尚昌 きたじま たかまさ	医員	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
伊元 孝光 いもと たかみつ	医員	日本内科学会認定内科医
山城 春華 やまき はるか	医員	日本内科学会認定内科医
白石 祐介 しらいし ゆうすけ	後期レジデント	日本内科学会認定内科医
網本 久敬 あみもと ひさたか	後期レジデント	日本内科学会認定内科医
宇山 倫弘 うやま みちひろ	後期レジデント	日本内科学会認定内科医
林 優介 はやし ゆうすけ	後期レジデント	日本内科学会認定内科医
前谷 知毅 まえたに ともき	後期レジデント	
山田 翔 やまだ しょう	後期レジデント	

#### 4. 呼吸器内科 外来実績

平成 30 年度外来患者数：27,319 名（2,276 名／月）（入院中外来を含む）

- 初診患者 2,417 名
- 地域医療室経由事前予約紹介患者数 531 名。
- 外来化学療法 のべ 797 件実施（腫瘍内科と協同して実施）

内科外来を受診される患者としては、気管支喘息、COPD、肺癌、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全、気管支拡張症、非結核性抗酸菌症、間質性肺炎などが多い。最近、特に間質性肺炎や非結核性抗酸菌症の患者が増加している。

なお、2006 年に当科と当院薬剤部、北区北支部薬剤師会、そして地域の保険薬局が協同して立ち上げた「吸入指導ネットワーク」により、保険薬局において統一された吸入指導を受けることが可能となり、喘息や COPD 患者の吸入手技や吸入治療アドヒアランスの向上に成果を上げている。

#### 5. 呼吸器内科 入院実績

平成 30 年度入院患者数：1564 名（月平均 130.3 名）

- 平均年齢 70.6 歳
- 検査目的 299 名、治療目的 1265 名
- 平均在院日数 13.5 日（検査目的 3.56 日、治療目的 15.8 日）
- 緊急入院患者 656 名（全体の 41.9%）
- 10 東・9 西以外の病棟に入院する患者 380 名（24.2%）

肺癌、肺炎、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、喘息・COPD、呼吸不全など多彩な疾患を有した患者が入院される。

呼吸器内科の病床数としては、10 階東病棟の 40 床と 9 階西など他病棟を加えた 52 床が定員であったが、実際には定員を大幅に超えることが多い。

主治医は基本的にスタッフか卒後 5 年目のレジデントが務め、後期レジデントや初期研修医が担当医として研修を行った。

入院患者の疾患別内訳は以下の通りである。

疾患	H27 患者数 (名)	H28 患者数 (名)	H29 患者数 (名)	H30 患者数 (名)
肺癌など悪性腫瘍（疑いを含む）	515	490	560	572
その他の腫瘍	2	1	0	43
インフルエンザ・上気道炎・気管支炎	11	16	17	12
肺炎	221	248	367	277
敗血症	3	6	4	15
肺膿瘍・敗血症性肺塞栓症など	18	21	22	13
肺真菌症（アスペルギルスなど）	11	10	6	18
結核（胸膜炎を含む）	15	13	17	11
非結核性抗酸菌症	23	32	35	31
気管支拡張症	16	16	19	11
気管支喘息	50	60	65	70
COPD	17	22	20	25
呼吸不全	82	98	116	89
心不全・右心不全	8	12	6	6
肺塞栓症・肺高血圧症	1	0	2	1
睡眠時無呼吸症候群	128	138	166	131
気胸	24	21	28	16
胸水・胸膜炎・膿胸	19	26	29	22
間質性肺疾患・びまん性肺疾患	100	129	126	88
過敏性肺炎			-	32
サルコイドーシス・IgG4 関連疾患	13	10	14	9
肺血管炎	7	1	5	5
血痰・喀血・肺胞出血	13	13	9	19
気道狭窄・気道異物	1	5	0	2
胸部異常陰影・無気肺	11	6	6	19
その他	21	30	26	36
<b>合計</b>	<b>1330</b>	<b>1443</b>	<b>1665</b>	<b>1564</b>

## 6. 呼吸器内科 検査実績

- 気管支鏡検査（内視鏡室で実施分）：330 件  
BAL 106 件、TBB 140 件、EBUS-GS 101 件、TBLB 78 件、EBUS-TBNA 25 件、EWS 3 件、エタノール注入 4 件。気胸合併は 3 件であった。
- CT ガイド下生検：17 件
- 呼吸機能検査  
精密呼吸機能 337 件、スパイロ 1636 件、気道可逆性試験 644 件
- 呼気 NO 検査：2191 件
- 睡眠呼吸検査  
ポリソムノグラフィ（PSG）\*107 件、簡易 PSG（パルスリーフ）12 件  
SpO<sub>2</sub> モニタリング 233 件  
\*慢性呼吸不全患者に対しては、経皮二 CO<sub>2</sub> モニタリングを併用した PSG を行い、睡眠時低換気の正確な把握を行い、成果を上げている。

## 7. 呼吸器内科診療の動向

### 肺癌

治療入院のうち、最も多いのが肺癌患者である。毎週、呼吸器外科、腫瘍内科および放射線科とともに合同カンファレンスを行い、肺癌患者の集学的治療を議論している。

進行非小細胞肺癌の診断・治療は近年大きく変わりつつある。特に、非扁平上皮肺癌においては、まず EGFR 遺伝子変異や ALK 遺伝子転座の有無を確認し、これらが陽性の患者に対しては、first line からチロシンキナーゼ阻害薬が積極的に用いられ、良好な診療成績を上げている。また、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の登場により、治療選択は広がり、長期の治療効果が期待できるようになった。一方で ICI の投与に伴う免疫関連有害事象（irAEs）の発生が問題になっている。

### 呼吸器感染症

高齢者の肺炎患者は、栄養障害や嚥下障害、ADL 低下などを合併していることが多い。入院初期から栄養サポートやリハビリテーションを積極的に導入している。また、退院後の介護や生活サポートを要する患者も多く、入院の早い段階から、地域サービスセンターと連携をとり、退院後の生活がスムーズに行くように心がけている。水曜日昼に開催される病棟カンファレンスには、医師・看護師に加えて、地域医療担当看護師、薬剤師、理学・作業療法士、栄養士などが集まり、様々な問題点について合同で協議している。

その他、非結核性抗酸菌症も中年以降の女性を中心に増えており、特に空洞を伴う難治性の場合、長期間の入院による安静および点滴治療を余儀なくされることがある。

## 間質性肺疾患

間質性肺疾患の診断・治療のための入院が多くなっている。一般に、特発性肺線維症（IPF/UIP）が注目されているが、実際には慢性過敏性肺炎との鑑別は非常に難しい。初診時から環境についての詳細な問診や血液検査を行い、慢性過敏性肺炎を疑う患者では、自宅などの環境調査を行い、羽毛製品の除去や環境整備を積極的に行っている。これらにより改善を示す患者も多い。これらによっても改善が乏しい場合には、ステロイドやシクロスポリン A による治療を試みている。典型的な IPF/UIP タイプは非常に少なく、抗線維化薬としてピルフェニドンやニンテダニブを用いる患者は多くない。

## 気管支喘息・慢性咳嗽

吸入ステロイド薬など吸入療法が喘息治療の中心であることは変わらず、前述の通り、吸入指導ネットワークを通じて地域の薬局・薬剤師会と協同で患者が正しい吸入手技を行うことができるように支援している。一方で、難治性喘息に対して、これまでの抗 IgE 抗体に加えて、抗 IL-5 抗体や抗 IL-5 受容体  $\alpha$  抗体など新しい生物製剤が登場し、治療方法が広がっている。一方で、喘息患者や慢性咳嗽などに対して漢方治療が奏功することも多い。

## 睡眠呼吸障害

**閉塞性睡眠時無呼吸症候群**に対して、鼻 CPAP 治療を導入した件数は着実に増加している（平成 30 年度、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料算定患者は 276 名）。これらの患者は月 1 回の定期通院が必要であり、外来混雑の要因となっている。地域医療サービスセンターの協力の下、**OSAS 地域連携クリニカルパス**により、開業医の先生との連携を図っている。

なお、中等症までの閉塞性睡眠時無呼吸症候群で、特に下顎が小さく後退している患者については、提携先のさちこ歯科で口腔内装置（OA）を作成して治療に用いており、良好な効果を上げている（平成 30 年度は 37 名紹介）。

## 呼吸不全・その他

**慢性呼吸不全**の患者については、薬物療法に加えて積極的に呼吸リハビリテーションを導入している。また、在宅酸素療法（平成 30 年度指導管理料算定患者は 126 名）、在宅人工呼吸療法（NPPV）（平成 30 年度指導料算定患者 49 名）の導入時には、長時間記録可能な SpO<sub>2</sub> モニタリングや経皮 CO<sub>2</sub> モニタリング、ポリソムノグラフィーなどを用いて正確な病態把握を行い、特に睡眠時低換気の有無を確認している。睡眠時低換気を有する場合には、積極的に夜間 NPPV 導入を図っている。

在宅療養に移行する場合は、地域医療サービスセンターの看護師・MSW を介して、かかりつけ医や訪問看護、在宅介護と密な連携を図っている。

**鍼治療・漢方治療**の積極的な導入も図っている。現在、明治国際医療大学の鈴木雅雄客員研究員を中心に、COPD 患者に対する長期鍼治療の効果を見るための臨床研究を外来で実施中である。また、入院中の癌患者の疼痛やしびれ、重症呼吸不全患者の呼吸苦などに対しても鍼治療を応用しつつある。一方、漢方治療に関しても、鈴木研究員の指導の下、一般診療に積極的に導入している。特に呼吸器疾患の患者は、心身のバランスを崩している方も多く、漢方治療がしばしば著効している。

## 8. 呼吸器内科 2018 年度業績

### 【誌上发表】

#### 原著

Nagata K, Kikuchi T, Horie T, Shiraki A, Kitajima T, Kadowaki T, Tokioka F, Chohnabayashi N, Watanabe A, Sato S, Tomii K. Domiciliary High-Flow Nasal Cannula Oxygen Therapy for Patients with Stable Hypercapnic Chronic Obstructive Pulmonary Disease. A Multicenter Randomized Crossover Trial. *Ann Am Thorac Soc*. 2018 Apr;15(4):432-439. doi: 10.1513/AnnalsATS.

Fujimoto D, Yoshioka H, Kataoka Y, Morimoto T, Kim YH, Tomii K, Ishida T, Hirabayashi M, Hara S, Ishitoko M, Fukuda Y, Hwang MH, Sakai N, Fukui M, Nakaji H, Morita M, Mio T, Yasuda T, Sugita T, Hirai T. Efficacy and safety of nivolumab in previously treated patients with nonsmall cell lung cancer. *Lung Cancer* 2018 May;119:14-20. doi: 10.1016/j.lungcan.2018.02.017.

Sumitomo R, Fukui T, Marumo S, Otake Y, Huang CL. Effects of vessel interruption sequence during thoracoscopic lobectomy for non-small cell lung cancer. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 2018 Aug;66(8):464-470. doi: 10.1007/s11748-018-0943-9. Epub 2018 May 25. PMID: 29802566

Suzuki M, Muro S, Fukui M, Ishizaki N, Sato S, Shiota T, Endo K, Suzuki T, Mitsuma T, Mishima M, Hirai T. Effects of acupuncture on nutritional state of patients with stable chronic obstructive pulmonary disease (COPD): re-analysis of COPD acupuncture trial, a randomized controlled trial. *BMC Complement Altern Med*. 2018 Oct 24;18(1):287. doi: 10.1186/s12906-018-2341-3.

Fujimoto D, Yoshioka H, Kataoka Y, Morimoto T, Hata T, Kim YH, Tomii K, Ishida T, Hirabayashi M, Hara S, Ishitoko M, Fukuda Y, Hwang MH, Sakai N, Fukui M, Nakaji H, Morita M, Mio T, Yasuda T, Sugita T, Hirai T. Pseudoprogression in Previously Treated Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Who Received Nivolumab Monotherapy. *J Thorac Oncol*. 2019 Mar;14(3):468-474. doi: 10.1016/j.jtho.2018.10.167.

Kumagai S, Arita M, Koyama T, Kumazawa T, Inoue D, Nakagawa A, Kaji Y, Furuta K, Fukui M, Tomii K, Taguchi Y, Tomioka H and Ishida T. Prognostic significance of crazy paving ground glass opacities in non-HIV *Pneumocystis jirovecii* pneumonia: an observational cohort study. *BMC Pulm Med* 2019;19(1):47. doi: 10.1186/s12890-019-0813-y.

Arai T, Kida H, Ogata Y, Marumo S, Matsuoka H, Gohma I, Yamamoto S, Mori M, Sugimoto C, Tachibana K, Akira M, Eda Hiro R, Hamasaki T, Inoue Y. Recombinant thrombomodulin for acute exacerbation in idiopathic interstitial pneumonias. *Respirology*, 2019 Mar 5 doi: 10.1111/resp.13514.

## 症例報告

Fujioka S, Kitajima T, Itotani R. Myositis in a Patient with Advanced Lung Cancer Treated with Osimertinib. *J Thorac Oncol*. 2018 Aug;13(8): e137-e139. doi: 10.1016/j.jtho.2018.03.014.

河島暁、白石祐介、丸毛聡、西村貴文、弓場吉哲、福井基成. 肺神経内分泌癌に対する化学療法中に再生検にて平滑筋肉腫の診断を得た1例. *日呼吸誌* 2018;7(3):151-155.

## 論文 (総説・報告)

丸毛聡. 気管支喘息増悪への対応. *Medicina* vol.55 No.1 2018: 110-115.

福井基成、北島尚昌. 特別発言: REM 低換気から NPPV は導入すべきか? *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌* 2018;7(3):304.

呼吸管理の新しいアプローチ ハイフローセラピーと NPPV. 北島尚昌、永田一真、蝶名林直彦. 第58回日本呼吸器学会学術講演会 イブニングセミナー記録集 2018.

福井基成. 非侵襲的呼吸管理の実践講座—酸素療法からハイフロー、NIV まで症例を学ぶ— 慢性呼吸不全 拘束性疾患 CO2 モニタを用いた NPPV 設定の方法とは? *呼吸器ジャーナル* 2019 67(1) 94-103.

福井基成、濱崎暁洋、長谷川義継. 院内の臨床データベースを FileMaker プラットフォームで統合し、臨床研究のさらなる質の向上をめざす. *IT vision* 2019 39 44-45.

工藤翔二、黒澤一、福井基成、堀江健夫、吉井千春、遠山和子. J-BREATH 新春座談会 2019 年 慢性呼吸器疾患患者に対する呼吸ケアの現状と将来展望. *J-BREATH* 2019 100 1-11.

## 【口頭発表】

### 報告 (一般演題)

丸毛聡, 前谷知毅, 山田翔, 林優介, 宇山倫弘, 白石祐介, 網本久敬, 渡邊アヤ, 原侘奈, 山城春華, 島寛, 白田全弘, 伊元孝光, 北島尚昌, 井上大生, 片山優子, 糸谷涼, 福井基成: 非結核性抗酸菌の院内感染対策は必要かどうか? 第58回日本呼吸器学会学術講演会. 2018. 4. 27. 大阪市

前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、山城春華、白田 全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：慢性閉塞性肺疾患（COPD）における気道好酸球炎症と気道壁肥厚の関連の検討。第 58 回日本呼吸器学会学術講演会。2018. 4. 27. 大阪市

丸毛聡、前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、渡邊アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：慢性閉塞性肺疾患（COPD）において自覚症状の長期的変動が増悪に寄与する影響の検討。第 58 回日本呼吸器学会学術講演会。2018. 4. 28. 大阪市

島寛、丸毛聡、宇山倫弘、林優介、網本敬久、白石祐介、渡邊アヤ、原伶奈、山城春華、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：過敏性肺炎における抗原同定・回避と増悪との関係についての検討。第 58 回 日本呼吸器学会学術集会。2018. 4. 28. 大阪市

北島尚昌、丸毛聡、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：高い二酸化炭素血症および長期非侵襲的人工呼吸療法が肺非結核性抗酸菌症の予後に及ぼす影響についての検討 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会。2018. 4. 29. 大阪市

白田全弘：著明な末梢血好酸球増多・多臓器障害を伴う気管支喘息の 1 例。第 12 回 Osaka Respiratory Expert Seminar。2018. 5. 26. 大阪市

白田全弘、玉井清子、井上大生、丸毛聡、福井基成：*Mycobacterium. abscessus* に対する checkerboard 法を用いた in vitro での抗菌薬併用効果の検討。第 92 回日本感染症学会学術講演会。2018. 6. 1. 岡山市

井上大生、丸毛聡、福井基成、伊藤明弘、石田直、上田哲也、中川宏昭、多木誠人、伊藤功朗、中川淳、辰巳秀爾、西村尚志、塩田哲広：肺炎入院患者における Body Mass Index と予後の関係 ～多施設共同研究の結果より～  
第 92 回感染症学会総会。2018. 6. 2. 岡山市

山田翔、境内大和、前谷知毅、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、伊本 孝光、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：慢性好酸球性肺炎に無症候性高好酸球性脳症を合併した好酸球増加症候群の 1 例。第 66 回大阪北肺疾患勉強会。2018. 6. 4. 大阪市

片山優子、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成：慢性呼吸器疾患における終末期呼吸管理方法。第 23 回日本緩和医療学会学術大会。2018. 6. 15-17. 神戸市

伊元孝光、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：パstrup下気道感染症例の臨床的検討。第67回呼吸器疾患同好会。2018.6.20。大阪市

丸毛聡、前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、渡邊アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：喘息患者の上気道と下気道のCT解析の意義。第67回日本アレルギー学会学術大会。2018.6.22。千葉県幕張市

山田翔、境内大和、前谷知毅、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、伊本孝光、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：オシメルチニブによる筋炎が疑われた肺腺癌の1例。第108回日本肺癌学会関西支部学術集会。2018.6.30。大阪市

白石祐介、北島尚昌、中野友美子、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、山城春華、白田全弘、伊元孝光、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：肺癌化学療法中にRS3PE症候群の発症が疑われた1例。第121回日本結核病学会近畿地方会/第91回呼吸器学会近畿地方会。2018.7.7。神戸市（悪天候のため誌上発表）

網本久敬、丸毛聡、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、福井基成：剖検にて肺多形癌の肺腫瘍血栓性微小血管症と診断した1例。第121回日本結核病学会近畿地方会/第91回日本呼吸器学会近畿地方会。2018.7.7。神戸市（悪天候のため誌上発表）

宇山倫弘、丸毛聡、前谷知毅、山田翔、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、福井基成：Pembrolizumab投与中に間質性肺炎、下垂体機能低下症、多発関節痛をきたした1例。第121回日本結核病学会近畿地方会/第91回日本呼吸器学会近畿地方会。2018.7.7。神戸市（悪天候のため誌上発表）

林優介、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊本孝光、北島尚昌、片山優子、丸毛聡、福井基成：関節リウマチに伴う器質化肺炎を治療中、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫を発症した1例。第121回日本結核病学会近畿地方会/第91回日本呼吸器学会近畿地方会。2018.7.7。神戸市（悪天候のため誌上発表）

前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：気管支鏡にて診断され禁煙にて軽快した肺ランゲルハンス細胞組織球症の一例。第121回日本結核病学会/第91回呼吸器学会近畿地方会。2018.7.7。神戸市（悪天候のため誌上発表）

白石祐介、網本久敬：呼吸器内科を目指した経緯、キャリアプラン。次世代の呼吸器内科を目指す会。2018.7.20。大阪市

白石祐介、白田全弘、丸毛聡、福井基成：頻回に増悪を繰り返していた慢性好酸球性肺炎に伴う重症喘息にmepolizumabが奏功した1例. GSK Severe Asthma Web Seminar～若手医師医師による重症喘息管理の調整～. 2018. 7. 31. 大阪市

山田翔、丸毛聡、福井基成：慢性過敏性肺炎患者にステロイド減量中生じたすりガラス陰影. CREATE セミナー. 2018. 8. 4. 東京都文京区

周素蘇、山田翔、北島尚昌、菊谷明宏、梶勇人、丸毛聡、福井基成：発熱に中心暗点を伴った市中肺炎の1例. 第6回 Kinki Young Respiratory Conference. 2018. 8. 24. 大阪市

Kitajima T, Marumo S, Shima H, Shirata M, Kawashima S, Inoue D, Katayama Y, Itotani R, Sakuramoto M, Fukui M. Clinical significance of episodic nocturnal hypercapnia and its treatment with noninvasive positive pressure ventilation in patients with stable advanced COPD. European Respiratory Society Congress 2018 2018. 9. 17. Paris

長谷部雅士、網本久敬、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：著明な気道壁肥厚を呈した急性好酸球性肺炎の1例. 第221回日本内科学会近畿地方会. 2018. 9. 22. 大阪市

周素蘇、山田翔、北島尚昌、菊谷明宏、梶勇人、丸毛聡、福井基成. 網膜病変による中心暗点を認めたレジオネラ肺炎の1例. 第211回日本内科学会近畿地方会 2018. 9. 22. 大阪市

白石祐介、北島尚昌、福井基成：気管支拡張症に伴う慢性呼吸不全患者に対する包括的な取り組み～医師の立場から～. 第32回 地域包括呼吸ケアを考える会. 2018. 10. 27. 大阪市

林 優介：ACTH単独欠損症が疑われた3例. K・K Forefront Meeting on Lung Cancer 2018. 11. 1. 大阪市

前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：難治性喘息に対しベンラリズマブを使用した1例. 呼吸器NEXT. 2018. 11. 2. 大阪市

山城春華、白田全弘、伊元孝光、井上大生、北島尚昌、片山優子、丸毛聡、福井基成：REM低換気を指標とした非侵襲的人工呼吸療法の有効性の検討. 第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 9. 千葉市

北島尚昌、丸毛聡、山田翔、前谷知毅、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：episodic Nocturnal Hypercapnia

(eNH)における PtcCO<sub>2</sub> 変化量の至適 cut off 値についての検討. 第 28 回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 10. 千葉市

山田翔、白田全弘、北島尚昌、福井基成 : Episodic Nocturnal Hypercapnia のスクリーニングにおける加速度情報付 SpO<sub>2</sub> 持続測定の有用性. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 10. 千葉市

今戸美奈子、竹川幸恵、長濱あかし、本田憲胤、福井基成 : 大阪府下の在宅呼吸ケアを受けている患者の健康関連 QOL と介護者の負担感—2007 年調査との比較—. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 9. 千葉市

本田憲胤、野村知里、鹿島愛香、東本有司、北島尚昌、福井基成、澤田優子 : 日常生活における経皮的酸素飽和度と前頭葉機能の関連. 第 28 回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 10. 千葉市

山田 翔、白田全弘、北島尚昌、福井基成 : Episodic Nocturnal Hypercapnia のスクリーニングにおける加速度情報付 SpO<sub>2</sub> 持続測定の有用性. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2018. 11. 10. 千葉市

丸毛聡 : COPD 吸入療法の実践的最適化を再考する. COPD 吸入療法 Web Seminar. 2018. 11. 13. 東京都

片山優子、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛聡、福井基成 : 免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺炎発症予測因子としての SP-D の有用性. 第 59 回日本肺癌学会学術集会. 2018. 11. 29-12. 1. 東京

山城春華、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、白田全弘、井上大生、北島尚昌、片山優子、丸毛聡、福井基成、村上裕亮、住友亮太、大竹洋介、黄政龍 : 当院における免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺疾患の検討. 第 59 回日本肺癌学会学術集会. 2018. 11. 29-12. 1. 東京

Shiraishi Y, Marumo S, Amimoto H, Yamaki H, Shirata M, Imoto T, Kitajima T, Inoue D, Katayama Y, Fukui M. The sum of tumor size predicts the efficacy of immune checkpoint inhibitors in non-small cell lung cancer. The 23rd Congress of the Asian Pacific Society of Respirology (APSR 2018). 29 November - 2 December 2018. Taipei

山田翔、境内大和、前谷知毅、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、伊本 孝光、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成 : 慢性Ⅱ型呼吸不全に対して NPPV を導入するも肺嚢胞が増大し、Biphasic Cuirass Ventilation で改善した 1 例. 第 92 回日本呼吸器病学会近畿地方会/第 122 回日本結核病学会近畿地方会. 2018. 12. 8. 奈良市

白石祐介、白田全弘、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、山城春華、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：頻回に増悪を繰り返していた重症喘息合併の慢性好酸球性肺炎にmepolizumabが奏功した1例。第92回日本呼吸器学会近畿地方会/第122回日本結核病学会近畿地方会。2018.12.8. 奈良市

網本久敬、丸毛聡、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、白石祐介、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、福井基成：オマリズマブ投与後に意識障害を繰り返し失感情症の関与が疑われた重症喘息患者の1例。第92回日本呼吸器学会近畿地方会/第122回日本結核病学会近畿地方会。2018.12.8. 奈良市

宇山倫弘、伊元孝光、前谷知毅、山田翔、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：縦隔に発生し、急速に増大した滑膜肉腫の1例。第92回日本呼吸器学会近畿地方会/第122回日本結核病学会近畿地方会。2018.12.8. 奈良市

林優介、白田全弘、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、網本久敬、白石祐介、山城春華、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：肺肉腫様癌に対しペムブロリズマブが奏功した1例。第92回日本呼吸器学会近畿地方会/第122回日本結核病学会近畿地方会。2018.12.8. 奈良市

前谷知毅、山田翔、林優介、宇山倫弘、白石祐介、網本久敬、山城春華、白田全弘、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：チェーン・ストークス呼吸を伴う慢性高CO<sub>2</sub>血症に対しASV(Adaptive Servo-Ventilation)が有効であった1例。第122回日本結核病学会/第92回呼吸器学会近畿地方会。2018.12.8. 奈良市

白石祐介、丸毛聡、福井基成：腫瘍径と免疫チェックポイント阻害薬の影響に関する検討。Chugai Lung Cancer Meeting。2018.12.14. 大阪市

北島尚昌、丸毛聡、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、福井基成：Clinical impact of episodic nocturnal hypercapnia and its treatment with noninvasive positive pressure ventilation in patients with stable advanced COPD NPO法人 西日本呼吸器内科医療推進機構 第14期総会 奨励賞 実地臨床部門 受賞講演 臨床部門。2019.2.2. 京都

北島尚昌、丸毛聡、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、山城春華、伊元孝光、白田全弘、井上大生、片山優子、福井基成：episodic Nocturnal HypercapniaとCOPDについての検討。NPO法人 西日本呼吸器内科医療推進機構 第14期総会。2019.2.2. 京都

前谷 知毅、丸毛 聡、山田 翔、林 優介、宇山 倫弘、白石 祐介、網本 久敬、山城 春華、伊元 孝光、白田 全弘、北島 尚昌、井上 大生、片山 優子、福井 基成：慢性閉塞性肺疾患（COPD）における気道好酸球炎症と気道壁肥厚の関連の検討。第8回気道疾患研究会。2019.2.17. 京都市

麥谷道生、林 優介、片山優子、櫻木 実、垣田浩子、福井基成：小細胞肺癌治療中に抗GBM抗体陽性の顕微鏡的多発血管炎を併発した1例。第223回日本内科学会近畿地方会。2019.3.2. 京都市

山城春華、片山優子、前谷知毅、山田翔、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、白田全弘、伊元孝光、井上大生、北島尚昌、丸毛聡、福井基成、村上裕亮、住友亮太、大竹洋介、黄政龍：当院における免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺疾患の検討。第4回がん免疫療法実践セミナー。2019.3.22. 大阪市

#### 【シンポジウム】

富井啓介、福井基成司会：シンポジウム9 在宅呼吸ケアにおいて酸素療法、NPPV を正しく使いこなす。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会。2018.11.10 千葉市

福井基成：慢性呼吸不全患者における睡眠時低換気について。シンポジウム9 在宅呼吸ケアにおいて酸素療法、NPPV を正しく使いこなす。日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会。2018.11.10 千葉市

北島尚昌：モニタリングを用いた在宅NPPV の実際。シンポジウム9 在宅呼吸ケアにおいて酸素療法、NPPV を正しく使いこなす。第28回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会。2018.11.10. 千葉市

#### 【座談会】

工藤翔二、黒澤一、福井基成、堀江健夫、吉井千春、遠山和子：慢性呼吸器疾患患者に対する呼吸ケアの現状と将来展望。J-BREATH 新春座談会 2019年。2018.11.23 東京都千代田区

#### 【講演】

丸毛聡：One airway, One disease ~これからの季節における喘息管理~喘息の診断から治療までのトータルコントロール。AZ Respiratory TV Symposium. 2018.2.14.

丸毛聡：喘息外来管理~このシーズンの乗り切り方~。おおさか呼吸器・泌尿器勉強会。2018.2.15. 大阪市

福井基成：慢性呼吸不全患者の病態に合わせて在宅呼吸ケアを考える。第23回東京呼吸ケア研究会特別講演。2018.2.17. 東京都中央区

丸毛聡：喘息外来管理の一工夫~吸入指導から吸入薬の使い分けまで~。第3回吸入療法(Asthma/COPD)を考える会 in 松江。2018.2.22. 松江市

北島尚昌、福井基成：COPDにおける睡眠呼吸障害の評価と管理。NPO法人 西日本呼吸器内科医療推進機構 第13期総会 ランチョンセミナー。2018.2.24. 京都市

福井基成：慢性呼吸不全患者に対する在宅呼吸ケアのポイント。第5回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会九州・沖縄支部学術集会ランチョンセミナー。2018.2.25. 福岡市

丸毛聡：実地臨床での咳嗽の診療のポイント～咳喘息を中心に～. 時習会学術講演会. 2018. 2. 27. 赤穂市

北島尚昌：呼吸管理の Up to Date～NPPV と酸素療法～. 愛媛 NPPV WEB セミナー 2018. 2018. 3. 7. 松山市

丸毛聡：安定期 COPD 管理の一工夫～医療連携活用の観点から～. 東三河地区 COPD 治療を考える会～COPD トータルマネジメント～. 2018. 3. 7. 豊橋市

丸毛聡：重症喘息診療の ABC～総合病院呼吸器内科での戦略～. Asthma Basic Conference. 2018. 3. 13. 大阪市

丸毛聡：デバイスの特徴を活かした安定期 COPD の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～. COPD Web Live Symposium. 2018. 3. 14

福井基成：息を知り、息を整える. 第 224 回龍亀会. 2018. 3. 22. 大阪市

北島尚昌：慢性呼吸不全の呼吸管理. 神戸非侵襲的呼吸管理セミナー. 2018. 4. 13. 神戸市

丸毛聡：安定期 COPD 管理の一工夫. COPD Forum in KOCHI. 2018. 4. 18. 高知市

福井基成：呼吸器疾患患者を地域で支える. 岡田塾. 2018. 4. 21. 大阪市

丸毛聡：Inhalation Therapy Management - How to lead patients to appropriate inhalation technique -. COPD Expert Meeting in Osaka. 2018. 4. 25. 大阪市

丸毛聡：COPD 患者の夜. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会. 2018. 4. 27. 大阪市

北島尚昌：ハイフローセラピーと NPPV ～急性呼吸不全の呼吸管理～. 第 58 回 日本呼吸器学会学術講演会 イブニングセミナー2. 2018. 4. 27. 大阪市

丸毛聡：デバイスの特性から再考する LAMA/LABA 配合剤. COPD Forum 2018 in Fukuoka ～患者さんの息切れ症状から COPD 治療を考える～. 2018. 5. 13. 福岡市

丸毛聡：プライマリケア医における咳嗽の診断と治療～咳喘息を中心に～. 浪速区医師会学術講演会. 2018. 5. 19. 大阪市

丸毛聡：重症喘息診療の ABC～非専門医の先生のための最新知識～. 北摂 喘息・COPD フォーラム. 2018.5.19. 吹田市

丸毛聡：実地臨床での喘息の診断と治療 UP DATE～呼気 NO の話題も含めて～. ASTHMA SEMINAR in 阪神. 2018.6.2. 尼崎市

丸毛聡：ガイドライン改訂を踏まえた COPD 安定期管理について～DYNAGITO 試験からわかること～. Respiratory Disease Conference. 2018.6.6. 倉敷市

丸毛聡：COPD 診療の一工夫～本邦での Best Practice を再考する～. COPD の病態と吸入療法～Implementing Best Practices～. 2018.6.9. 大津市

福井基成：慢性呼吸不全は夜に始まる. 第 26 回香川レスピラトリ・ケア研究会. 2018.6.28. 高松市

丸毛聡：実践的喘息外来管理～診断から吸入薬使い分けまで～. Asthma Seminar in Kochi. 2018.6.27. 高知市

丸毛聡：実地臨床での喘息管理 UP DATE～吸入薬の使い分けから生物学的製剤まで～. 呼吸器疾患 Seminar in Hokusetsu. 2018.6.30. 大阪市

福井基成：医学研究所の歩んできた道、これからの道. 第 29 回 Single Topic Seminar in 鳴尾. 2018.7.5. 西宮市

丸毛聡：実地臨床における COPD 診療の一工夫. COPD Forum 2018 in Hiroshima. 2018.7.5. 広島市

丸毛聡：喘息外来管理の一工夫～吸入薬の使い分けから生物学的製剤まで～. ～実地医家が診る気管支喘息～. 2018.7.7. 名古屋市

福井基成：呼吸・循環機能の評価. 平成 30 年度 意識障害・廃用性症候群の看護認定教育課程. 2018.7.8. 札幌市

丸毛聡：喘息外来管理の一工夫～診断から吸入薬の使い分けまで～. 北播磨明日からの喘息治療を考える会. 2018.7.19. 小野市

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント～より正確に病態を把握し、より多くの人で支える～. 次世代の呼吸器内科医を目指す会. 2018.7.20. 大阪市

丸毛聡：プライマリケアにおける咳の診かた. 大阪西部喘息アレルギーフォーラム. 2018.7.28. 大阪市

丸毛聡：プライマリケア医における咳の診かた．おおさかアレルギー疾患勉強会．2018.8.25. 大阪市

福井基成：地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導ー吸入指導ネットワークの試み．大崎地区学術講演会 吸入療法地域連携講演会．2018.8.29. 大崎市

丸毛聡：短時間で習得する内科医の咳の診かた～診断から治療薬の使い分けまで～．第6回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会・学術講演会．2018.9.7. 金沢市

丸毛聡：プライマリケアにおける咳の診かた．呼吸器疾患フォーラム in 倉敷．2018.9.11. 倉敷市

丸毛聡：安定期 COPD 管理の一工夫～薬物治療から非薬物治療まで～．西三河地区 COPD 治療を考える会～COPD トータルマネジメント～．2018.9.21. 安城市

丸毛聡：LAMA/LABA 配合剤を COPD 治療にどのように役立てていくか？ Meet the Expert. 2018.9.22. 東京都

丸毛聡：喘息外来管理の一工夫～診断から吸入薬の使い分けまで～．Chita Area Asthma Symposium. 2018.10.3. 知多市

丸毛聡：安定期 COPD 管理の一工夫～薬物治療から非薬物治療まで～．第17回東伊予 COPD 研究会．2018.10.11. 新居浜市

北島尚昌：呼吸管理の新潮流～急性期から慢性期まで～．第11回高知呼吸不全研究会．2018.10.11. 高知市

福井基成：在宅呼吸ケアのポイント～より正確に病態を把握し、より多くの人で支える～．第18回宮城在宅呼吸管理研究会．2018.10.13. 仙台市

丸毛聡：Inhaler Choice: Device Perspective. COPD Summit 2018. 2018.10.14. 東京都

丸毛聡：喘息の合併症を実践的に見直す．Asthma Basic Conference. 2018.10.17. 大阪市

丸毛聡：医療連携を活用した咳嗽の鑑別と喘息の管理～症例から学ぶ咳嗽診療の実際～．第10回大阪呼吸器カンファレンス．2018.10.22. 大阪市

丸毛聡：安定期 COPD 管理の薬物治療のコツ．南加賀生活習慣病フォーラム．2018.10.24. 小松市

丸毛聡：慢性咳嗽の診断と治療～咳喘息を中心に～．第11回播磨喘息連携研究会．2018.10.25. 姫路市

福井基成：私の歩んできた道。第3回自分らしく生ききるケア・サポートを考える会。2018.10.20. 長崎市

丸毛聡：デバイスの特徴を活かした安定期 COPD の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～。ULTIMATE FORUM in Saitama. 2018.10.31. さいたま市

丸毛聡：デバイスの特徴を活かした安定期 COPD の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～。ULTIMATE FORUM in Kyoto. 2018.11.1. 京都市

丸毛聡：重症喘息をめぐるクリニカルクエスション～生物学的製剤の前に確認すること～。明日と未来の喘息診療を考える西日本臨床閉塞性肺疾患シンポジウム。2018.11.3. 神戸市

福井基成：呼吸ケアにおけるモニタリング。第5回呼吸ケアスキルアップセミナー。2018.11.8. 千葉市

丸毛聡：デバイスの特徴を活かした安定期 COPD の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～。ULTIMATE FORUM in Okayama. 2018.11.9. 岡山市

丸毛聡：喘息を意識した COPD 治療戦略。北摂 COPD トータルマネジメントフォーラム 2018。2018.11.10. 吹田市

丸毛聡：安定期 COPD の吸入療法を考え直す～Implementing Best Practices in Japan～。第10回 COPD シンポジウム岐阜。2018.11.14. 岐阜市

丸毛聡：最新のエビデンスを踏まえた安定期 COPD の治療戦略。第4回阪神喘息 COPD 研究会。2018.11.15. 尼崎市

丸毛聡：COPD 治療の実際。第7回生活習慣病フォーラム。2018.11.21. 大阪市

丸毛聡：エビデンスとエクスペリエンスから再考する最新の COPD 吸入療法。福岡呼吸器フォーラム。2018.11.28. 福岡市

丸毛聡：プライマリケアでの咳の診かた～症例から学ぶ咳嗽診療の実際～。フルティフォームエリア講演会 in 明石市大久保地区。2018.11.29. 明石市

丸毛聡：好酸球高値かつ IgE 高値の重症喘息症例での生物学的製剤の効果の検討。第7回重症喘息バーチャルフォーラム。2018.12.6.

丸毛聡:風邪のシーズンを乗り切るために！喘息の治療戦略を組み立てる. AZ Respiratory TV Symposium. 2018. 12. 7.

丸毛聡:デバイスの特徴を活かした安定期 COPD の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～. ULTIMATE FORUM in Sapporo. 2018. 12. 13. 札幌市

福井基成:呼吸理学療法の実際～よりよい在宅生活を目指して～ 在宅医療の現状と課題. 大阪府士会主催理学療法講習会. 2018. 12. 15. 枚方市

丸毛聡: COPD 外来の実践的アルゴリズム～GOLD2019 を踏まえて～. COPD 学術講演会. 2019.1.17. 姫路市

福井基成:慢性呼吸不全は夜始まる. Scientific Exchange Meeting for KeiHanShin Rising Generation. 2019. 1. 17 大阪市

丸毛聡: 実地臨床における今シーズンの抗インフルエンザ薬の適正使用を再考する. Influenza Web Seminar. 2019.1.23. 大阪市

福井基成: 地域包括ケアシステムと呼吸リハビリテーション. 第 36 回呼吸リハビリテーション症例検討会. 2019.1.25 大阪市

丸毛聡:実地臨床における今シーズンの抗インフルエンザ薬の適正使用を再考する. 旭区医師会学術講演会. 2019.2.8. 大阪市

丸毛聡:実地臨床における今シーズンの抗インフルエンザ薬の適正使用を再考する. 大阪市北部インフルエンザセミナー. 2019.2.14. 大阪市

丸毛聡:短時間で習得する内科医の咳の診かた～症例から学ぶ咳嗽診療の実際～. 八幡耳鼻科医会講演会. 2019.2.21. 北九州市

丸毛聡:プライマリケアにおける咳の診かた. 布施医師会学術講演会. 2019.2.27. 布施市

福井基成:在宅呼吸ケアのポイントーより正確に病態を把握しより多くの人で支えるー. 第 7 回南近畿呼吸リハビリテーションネットワーク症例検討会. 2019. 2. 27 大阪府狭山市

丸毛聡: 症例から学ぶ実践的咳嗽診療～咳嗽診断から喘息管理まで～. 第 1 回日本アレルギー学会地方会近畿支部学術講演会 (ランチオンセミナー2). 2019.3.9. 大阪市

丸毛聡：COPD 外来の実践的アルゴリズム~Implementing Best Practices in Japan~. COPD トータル  
マネジメントセミナー. 2019.2.28. 岡山市

丸毛聡:COPD の外来診療の最適化を再考する~GOLD2019 を踏まえて~. ULTIMATE Forum~COPD  
治療の新たなる展開~. 2019.3.27. 倉敷市

丸毛聡：COPD の外来診療の最適化を再考する~GOLD2019 を踏まえて~. Asthma COPD Expert  
Meeting. 2019.3.28. 大阪市

**【呼吸器内科主催・担当研究会】**

- 吸入指導ネットワーク講習会 年1回開催
- 地域包括呼吸ケアを考える会 年2回開催
- Osaka Respiratory Expert Seminar 年2回開催
- 呼吸器専門医のためのとことんセミナー 年1回開催
- 大阪NIPミーティング 年1回開催
- K・K Forefront Meeting on Lung Cancer 年1-2回開催
- 近畿LAMP研究会 年1回開催
- ネーザルハイフロー療法勉強会 年1回開催（事務局）